

# 地域に根ざした安全への取組

～地域・関係機関との連携を通して～

## 目標・ねらい

生徒，保護者，地域の実践力のあるモラル・規範意識を図る。

地域や関係機関と連携を密にし，安全を図る。

交通安全教室，薬物乱用教室，養護施設への訪問，地域防犯パトロール，ボランティア活動（特別活動，委員会活動，PTA活動）

教育課程上の位置づけ  
特別活動

## 事前指導・経緯

近年，登下校の際のマナ - や交通ル - ルを守らないものが増え始めている。また地域の中でも不審者の姿が時おり見られるようになってきている。

- ・子どもたちのモラル，規範意識の向上を図る。
- ・地域，関係機関との連携を図る。

### 地域への対応

- ・ 地域の子どもを守る という視点で協力を依頼。

< 協力依頼の方法 >  
行政連絡員を通し，地域の全家庭に回覧文章などの情報を提供する

### 『地域防犯パトロール』

平成15年度より職員，PTA役員により実施。

職員 = 一般生徒・部活動生徒の下校に実施。

役員 = 部活動生徒の下校に実施。

二班編成で学区内を2方面に分け，実施。

平成16年度より全保護者参加により毎日実施。

### 〔実施方法〕

- ・ 一班編成で3～4名で学年クラスの順に実施。
- ・ 兄弟のいる保護者は，上の学年で担当する。

- ・ 安全，福祉委員会が中心になり，「命を大切に  
するキャンペーン」の広報をする。
- ・ 事前指導を行い，基本的な知識を身に付ける。
- ・ 各関係機関と打合せをし，ねらい等を確認し，  
家庭へも参加を依頼する。

## 実施内容

### 《交通安全教室》

- ・ビデオを視聴
- ・警察官と交通安全協会員の指導の下，教習所の模擬道路を使って実地訓練をする。



### 《薬物乱用教室》

- ・ビデオを視聴
  - ・警察署の補導員による実験と講話。また，参加生徒と教師によるロールプレイング。
  - ・質疑応答
  - ・保護者も参加
- まとめ
- ・誘惑には乗らない。
  - ・薬物の恐ろしさを理解できた。



### 《地域防犯パトロール》

- ・定期的な交通指導を行う。（安全指導部）
- ・下校の際には，不審者への対応として「わが子を守るは，自らの手で」という考え方に立ち，実施している。（全保護者）

## 事後指導

- ・体験や話し合いを通してモラルや規範意識の向上のため，継続的に実施に努め，地域や家庭・各関係機関と連携しながら進める。

## 取組の評価

一学期に交通安全，薬物乱用防止教室を実施したところ，それぞれに規範意識が高まったと思われる。

通年を通し，防犯パトロールを実施して保護者の安全への意識が高まり，積極的な参加が見られるようになった。また，不審者の発生が減少している。

学校と地域また関係機関とも連携を深め，運営上の改善をしながら継続的に行うことが重要である。